

# マテリアリティ特定のプロセス

## STEP 1 : 社会課題、マテリアリティ項目の抽出

- ・SDGs、UNEP(国際連合環境計画)のインパクトレーダ等のガイドラインを参考に経済、社会、環境の側面から社会課題を抽出
- ・管理職対象のSDGs研修(2020年5月21日~28日)で受講者(約300名)から提出のあった当社の取り組み課題(約1,600項目)を参考に、マテリアリティ項目として約180項目を抽出
- ・抽出にあたっては、一部関係部署にヒアリングを実施

## STEP 2 : マテリアリティ項目の絞り込み

- ・事務局にて、当社グループとの関連性が低い項目の削除や、内容が重複する項目の統合、ならびにESG評価項目の視点を加味し、事務局原案として30項目に絞り込むとともに7項目に体系立てて集約

## STEP 3 : 優先順位付けとマテリアリティの特定

- ・管理職アンケートの実施 (2020年11月19日~30日)
- ・執行役員との意見交換 (2021年 1月 7日~18日)
- ・第三者意見(外部有識者)への意見聴取(2021年 2月15日~22日)を経てマテリアリティを特定